



総研大ニューズレター

第67号 2013.12 発行

●目次

【今月のトピックス】

- 「総研大創立 25 周年記念式典・祝賀会 挙行」 総務課
- 「総研大創立 25 周年記念「はじまり」シンポジウム 開催」
総研大創立 25 周年記念事業実施委員長
- 「国立大学法人総合研究大学院大学学長候補者 決定」 総務課
- 「国際日本研究専攻入学試験説明会 開催」 国際日本研究専攻
- 「先導科学研究科 学術講演会 開催」 総務課
- 「統計科学専攻 大学院説明会 開催」 統計科学専攻
- 「生命共生体進化学専攻 説明会 開催」 総務課
- 「大学共同利用機関シンポジウム 2013『万物は流転する』参加」 広報室

【各種募集】

【イベント情報】

主なイベント予定

- | | |
|--------------------|---|
| 12月2日、9日、1月20日、27日 | 総合教育科目「科学・技術と社会Ⅰ・Ⅱ」（英語） |
| 12月5日、6日 | 総合教育科目「科学・技術と社会Ⅱ」（日本語） |
| 12月10日～13日 | 核融合科学専攻・構造分子科学専攻・機能分子科学専攻「アジア冬の学校」 |
| 12月16日～18日 | 総研大レクチャー「科学技術倫理と知的財産権—学術研究の適切なすすめ方 ① 基礎編」 |
| 12月17日 | 日本文学研究専攻 特別講義 |
| 12月19日～20日 | 総合教育科目「専門基礎BI」統計科学概論 |

【今月のトピックス】

● 総研大創立 25 周年記念事業式典・祝賀会を挙行

総合研究大学院大学は、創立 25 周年記念式典・祝賀会を去る平成 25 年 11 月 25 日に湘南国際村センターにおいて、100 名を超える参加者が出席し開催した。

現在本学の客員研究員であり本学にて博士号を取得された秋篠宮殿下の御臨席を仰ぐとともに、記念式典において殿下からおことばを賜った。

式典は厳かであるとともに、祝賀会は和気藹々とした雰囲気で行われた。



【文責 総務課】

● 総研大創立 25 周年記念「はじまり」シンポジウムを開催

総研大 25 周年記念事業として、「はじまり」シンポジウムを開催しました。実は、1995 年 3 月に総合研究大学院大学第 3 回国際シンポジウムとして同名の「起源」を問う集会在り、今回開催の意図は、18 年の間に起源の問題についてどれほどの進展があったかを交流し合うこと、そして学融合推進センターの共同研究事業の種を得るためのヒントとすることでした。

シンポジウムは 11 月 25 日午後 1 時～午後 5 時 30 分、26 日午前 9 時 20 分～午後 4 時の二日間開かれました。講演者（13 人）には現在の日本の研究を代表し、かつ総研大にも関係ある人々に講演をお願いしました。いずれもたくさんの準備をされ、基礎から最先端までの話題を熱意がこもった講演をしていただいたので、レベルの高いシンポジウムとなり感謝しています。



プログラムにある通り、セッション（a）として「天」（宇宙・素粒子・太陽系）、「地」（地球上での物質の営み）、「人」（ヒトの発祥から文明構築まで）の 3 部構成とし、時間系列として歴史を追い、節目のモノとコトに関する「はじまり」を議論していただきました。そもそもの宇宙のはじまりから人間の文明のはじまりまで、それぞれ全く質が異なるにもかかわらず、そこに何らかの共通性を感じさせるものでした。セッション（a）が時間軸に沿う縦の系列とすると、続くセッション（b）では「はじまり」を解析する視点や方法を前面に出して考えようというもので、いわば横軸から見た系列と言えるかもしれません。最後にセッション（c）としてこのシンポジウムの講演を聞いての感想から「はじまり」に関連しての共同研究の提案まで、講演者が気楽に思ったことを話せる時間を設けました。



いずれの講演も 40 分という限られた時間で少々窮屈な感じとなりましたが、緊張感溢れる素晴らしい講演会であったと思います。このシンポジウムの報告集は東大出版会から出版する予定で、講演者の皆様にはまだ仕事を願っています。

【文責 総研大創立 25 周年記念事業実施委員長 池内 了】

「はじまり」シンポジウム・タイムテーブル

(※来場者数 11/25(月)152名、11/26(火)午前:123名/午後:117名)

11月25日(月) (於: 総研大2階講堂)

13:00~13:10分 開会、挨拶

13:10~13:20分 池内実施委員長: 趣旨説明

(a) 「はじまり」に関わる講演

13:20~14:00

『すべての「はじまり」ービッグバン』: 佐藤勝彦 (自然科学研究機構)

14:00~14:40

『形の世界の「はじまり」ー質量の起源』: 磯暁 (高工・加速器科学研究科、高工研)

14:40~15:20

『生命の「はじまり」条件ーハビタブル惑星の誕生』: 田村元秀 (東大理)

15:30~16:10

『生命の「はじまり」ー化学進化』: 小林憲正 (横国大・工)

16:10~16:50

『遺伝子情報の「はじまり」ー生命の多様な展開』: 池村淑道 (総研大名誉教授、長浜バイオ大学)

16:50~17:30

『文明の「はじまり」ー日本における農耕の起源』: 藤尾慎一郎 (文化科学研究科、歴博)

18:00~20:00 創立25周年記念式典及び祝賀会 (於: 湘南国際村センター)

11月26日(火) (於: 総研大2階講堂)

9:20~10:00

『細胞内共生の「はじまり」ー光合成』: 皆川純 (生命科学研究科、基生研)

10:00~10:40

『ヒトの「はじまり」ー自己認識から知的世界へ』: 長谷川真理子 (先導科学研究科)

10:40~11:20

『古代アンデスにおける神殿の「はじまり」: モノをつくりモノに縛られる人々』

関雄二 (文化科学研究科、民博)

11:20~12:00

『文明の「はじまり」ー世界における家畜飼養の起源』: 池谷和信 (文化科学研究科、民博)

(b) 「はじまり」を考えるための総括的講演

13:00~13:40

『複雑性の科学ー考え方・進め方』: 佐藤哲也 (総研大名誉教授、兵庫県立大)

13:40~14:20

『人間=自然相互作用系の諸現象のはじまりを解くー気候変動を中心に』: 佐藤洋一郎 (京産大)

14:20~15:00

『「はじまり」におけるコミュニケーションの役割』: 岡ノ谷一夫 (東大総合文化)

(c) 文理協業のための提案

15:00~16:00

『「はじまり」の多様性と普遍性: 対称性の破れ・ゆらぎの自己組織化・創発など』

(佐藤(勝)、皆川、関、池谷、佐藤(哲)) (一人10分ずつ)

16:00 閉会

● 国立大学法人総合研究大学院大学学長候補者 決定

高畑尚之学長の任期満了（平成26年3月31日）に伴う学長候補者選考が平成25年11月28日に行われ、岡田泰伸氏（総合研究大学院大学名誉教授、自然科学研究機構生理学研究所名誉教授）が新学長に決定した。任期は、平成26年4月1日から平成29年3月31日までの3年間。

昭和18年7月29日生まれ、京都大学医学部卒業（医学博士）。昭和49年4月に京都大学医学部助手に採用され、その後講師を経て平成4年9月岡崎国立共同研究機構生理学研究所教授、平成19年4月から自然科学研究機構生理学研究所長、平成22年4月から自然科学研究機構理事を歴任した。また、在任中は総合研究大学院大学生命科学研究科長、生理科学専攻長等を併任した。専門は、細胞生理学。

【文責 総務課】

● 国際日本研究専攻で平成26年度大学院入学試験説明会を開催

平成25年10月31日（木）、国際日本文化研究センターにおいて、総合研究大学院大学文化科学研究科国際日本研究専攻入学試験説明会が開催されました。入学試験説明会は、基盤機関が実施している「日文研一般公開」に併せて毎年秋に行っているもので、当日は、修士課程学生の方のみならず、既に社会で活躍されておられる方も含む12名の参加者がありました。

当日は、荒木浩専攻長による開会の挨拶、大学院教育の理念にはじまり、松田利彦入学者選抜委員会委員長による入学試験の概要説明、専攻教員・現役大学院生及び参加者による自己紹介及びフリーディスカッションがあり、参加者からは出願に関するもののほか、研究生活についての質問なども寄せられました。

その後、「現役大学院生による日文研ツアー」と称し、現役大学院生が日頃利用している基盤機関の研究室や図書館など施設見学の紹介が行われ、参加者は現役大学院生の説明に対し積極的に質問するなど、交流が図られました。

また、説明会終了後に実施した参加者アンケートでは、「入試の概要や、入学してからの様子を詳しく知ることができた。特に院生の方々に個別にお話しを伺えて良かった。」「とても良い環境で絶対に来たいと思った。院生の方々も楽しそうに研究生活を送られていることが伝わった。」「一つの研究分野をただ掘り下げるだけではなく、多方面から見るといふところに魅力を感じた。」などの感想が寄せられ、単なる入学試験説明会にとどまらない、国際日本研究専攻の魅力アピールできる良い機会となりました。



【文責 国際日本研究専攻】

● 第16回先導科学研究科学術講演会を開催

先導科学研究科では、地域社会との交流を深めるとともに、科学の新しい流れを創造する最前線の研究について、広く一般の方々に分かり易く伝えていくことを目的に、毎年文化の日に学術講演会を開催しております。

平成25年度においては、第16回目となる本講演会を、11月3日に開催し、近隣地域の住民の方を中心に60名を越える参加者が来学されました。第1部として生命共生体進化学専攻の宅野将平助教の「カブ・ダイコン・ハクサイ・ミズナ、仲間はずれは誰？～種の定義と遺伝的多様性～」の講演が行われ、種の定義の歴史上の変遷、種がどのように進化するか、さらに進化の主要な原動力である突然変異と自然選択について、世代間で遺伝情報を伝える様式などを紹介していただきました。

第2部では生命共生体進化学専攻の寺井洋平助教の「よく見えないと生き残れない～カワスズメ科魚類の視覚の適応と種の起源～」の講演が行われ、生物は種分化と適応をくり返すことによって、現在の生物多様性が創出されてきたこと、そして適応と種分化がどのようにして起きてきたのか、などの最新の研究を紹介していただきました。

2つの講演ともに、参加者は大変興味深い様子で、メモを取りながら熱心に聞き入っている方が多くいらっしゃいました。

講師の話が終了した後も、興味を持った参加者から質問が相次ぎ、参加者は皆、大変満足された様子で今年度も盛況に終えることができました。

【総務課】

● 統計科学専攻 平成25年度第2回大学院説明会を開催

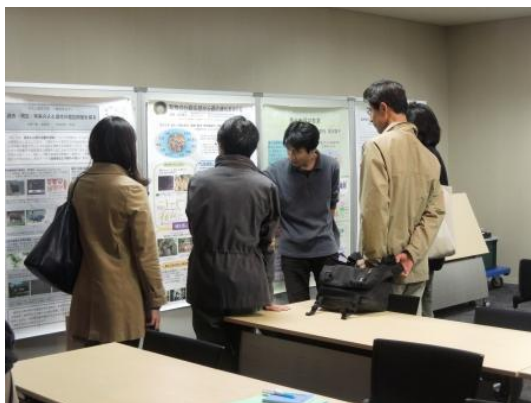
平成25年11月8日（金）に統計数理研究所会議室1において、統計科学専攻平成25年度第2回大学院説明会を開催し、16名の参加者がありました。

内容は、今年度の入試ガイダンス、5年の課程と後期3年の課程のカリキュラムの説明、在学生による研究テーマの紹介、修了後の進路紹介などについての説明を行い、説明会終了後には、希望者に対して教員との面談を行いました。



【文責 統計科学専攻 研究支援担当】

● 生命共生体進化学専攻説明会の開催について



生命共生体進化学専攻は、11月16日（土）に秋葉原UDXカンファレンスにおいて専攻説明会を行いました。本専攻では毎年2回の説明会を開催しており、今回は8名の参加がありました。

第1部は、「生命共生体進化学専攻における研究の最前線」と題して、飯田香穂里助教による「お化けと科学～日本の科学史の一コマ～」など3名の講演が行われました。さらに第2部では専攻の各分野の研究内容紹介や各教員との個別相談が行われました。参加者からは「教員と直接話しができてよかった」「今後の進路を決定する上でとても参考になった」

「興味深い話を聞いた」「専攻の目指す方向性に共感した」等の感想が聞かれ、大変充実した説明会となりました。

【プログラム概要】

第1部

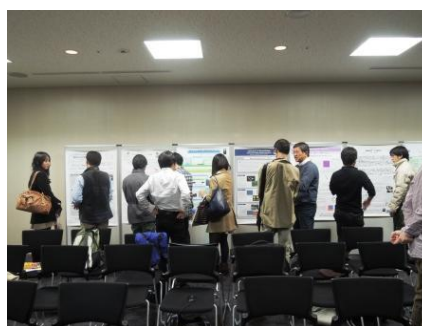
13:00-15:00 講演

- ① 「お化けと科学～日本の科学史の一コマ～」 飯田香穂里助教
- ② 「よく見えないと生き残れない～カワスズメ科魚類の視覚の適応と種の起源」寺井洋平助教
- ③ 「カブ・ダイコン・ハクサイ・ミズナ、仲間はずれは誰？～種の定義と遺伝的多様性～」宅野将平助教

第2部

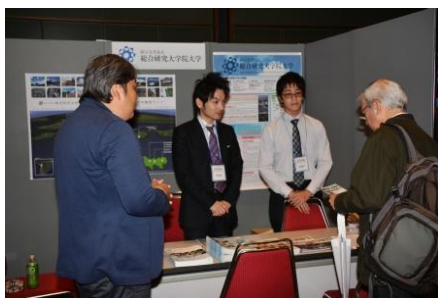
15:10-16:00 専攻概要／カリキュラム・入試説明／研究室紹介

16:00-17:00 個別相談／ポスター説明



【文責 総務課】

● 大学共同利用機関シンポジウム2013『万物は流転する』へのブース展示参加



11月16日（土）有楽町の東京国際フォーラムにおいて、大学共同利用機関シンポジウム2013「万物は流転するー因果と時間ー」が開催されました。晴天にも恵まれ、開催場所も良かったことから、250名もの参加があり、たいへん盛況なシンポジウムとなりました。

講演開始前や休憩時には、本学も設置させていただいたブース展示会場に多くの参加者に足を運んでいただき、こちらの方もたいへんな盛況となりました。ご年配の参加者が多かったのですが、中には総研大への進学を考えているという大学生の方もおられました。

【文責 広報室】

【各種募集】 現在公募中の情報

応募期間	イベント名称・提出先	参考URL
随時	学融合推進センター 研究論文助成 総合研究大学院大学 学融合推進センター事務係	http://cpis.soken.ac.jp/htdocs/?page_id=68
12月12日まで(申請資格に該当する者のみ)	平成25年度(第19回)総合研究大学院大学長倉研究奨励賞募集 詳細はURLを参照	http://www.soken.ac.jp/news_all/2993.html http://www.soken.ac.jp/en/news/0263.html
平成26年1月17日(金)まで	平成26年度総合研究大学院大学学長賞 詳細はURLを参照	http://www.soken.ac.jp/news_all/3184.html

【イベント情報】

●総研大の行事

12月

開催日	時間帯	イベント名称・開催場所	参考URL
12月2日(月) 12月9日(月) 1月20日(月) 1月27日(月)		先導科学研究科生命共生体進化学専攻科目「科学・技術と社会Ⅰ・Ⅱ」(英語) 総研大葉山キャンパス	http://www.soken.ac.jp/news_all/3215.html
5日(木) - 6日(金)		先導科学研究科生命共生体進化学専攻科目「科学・技術と社会Ⅱ」(日本語) 総研大葉山キャンパス	http://www.soken.ac.jp/news_all/3216.html
10日(火) - 13日(金)		アジア冬の学校 核融合科学専攻 核融合科学研究所	http://www-nsrp.nifs.ac.jp/aws2013/index-j.shtml
10日(火) - 13日(金)		アジア冬の学校 構造分子科学専攻・機能分子科学専攻 分子科学研究所 岡崎コンファレンスセンター	http://www.ims.ac.jp/aws13/index.html
16日(月) - 18日(水)	10:15-15:45	総研大レクチャー「科学技術倫理と知的財産権—学術研究の適切なすすめ方 ① 基礎編」 放送大学学園東京オフィス2階会議室(東京文京学習センター内)放送大学施設	http://www.soken.ac.jp/news_all/3209.html
19日(木) - 20日(金)	13:00-17:50 9:00-17:05	平成25年度総合教育科目「専門基礎BⅠ」 統計科学概論 総研大葉山キャンパス	http://www.soken.ac.jp/news_all/3217.html
27日(金)	13:30-	メディア社会文化専攻 学位申請論文公開発表会 放送大学学園	

1月

開催日	時間帯	イベント名称・開催場所	参考URL
1月10日(金) - 1月11日(土)		生命共生体進化学専攻オープンキャンパス 総研大葉山キャンパス	http://www.esb.soken.ac.jp/admissions/open_campus/20140110.html
16日(木)	10:30-	メディア社会文化専攻 学位申請論文公開発表会 放送大学学園	
16日(木) - 18日(土)		総研大レクチャー「科学技術倫理と知的財産権—学術研究の適切なすすめ方 ② 応用編」 放送大学学園東京オフィス2階会議室(東京文京学習センター内)放送大学施設	http://www.soken.ac.jp/news_all/3218.html
23日(木) - 24日(金)		学融合研究事業・公開報告会 総研大葉山キャンパス	
24日(金)	13:00-17:00	総研大レクチャー「学術映像の基礎—みる・つくる2013」第2部 国立民族学博物館 第3セミナー室	

●基盤機関の行事

12月

開催日	時間帯	イベント名称・開催場所	参考URL
9月19日(木)- 12月3日(火)	10:00-17:00	特別展「渋沢敬三記念事業 屋根裏部屋の博物館 Attic Museum」 国立民族学博物館・特別展示館	http://www.minpaku.ac.jp/museum/exhibition/special/20130919attic/index
10月8日(火)- 12月1日(日)		中世の古文書-機能と形- 国立歴史民俗博物館	http://www.rekihaku.ac.jp/exhibitions/project/index.html
11月6日(水)- 12月1日(日)		伝統の古典菊 国立歴史民俗博物館・くらしの植物苑	http://www.rekihaku.ac.jp/exhibitions/project/plantnow.html
11月7日(木)- 3月31日(月)	10:00-16:30	常設展示「和書のさまざま」 国文学研究資料館・展示室	http://www.nijl.ac.jp/pages/event/
11月12日(木)- 1月28日(火)	10:00-17:00	年末年始展示イベント「うま」 国立民族学博物館・探究ひろば横休憩所	http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/eto/2014uma
11月29日(火)- 12月1日(日)		海を渡った漆器Ⅱ-江戸時代の輸出漆器- 国立歴史民俗博物館	http://www.rekihaku.ac.jp/exhibitions/project/index.html
11月26日(火)- 5月6日(火・振)		さまざまな節供 国立歴史民俗博物館	
11月30日(土)- 12月1日(日)		第37回 国際日本文学研究集会 国文学研究資料館・大会議室	http://www.nijl.ac.jp/pages/event/
1日(日)	14:30-15:30	みんなくウィークエンド・サロンー 研究者と話そう第322回「タイで働くということ」 国立民族学博物館	http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/salon/322
12月3日(火)- 1月26日(日)		冬の華・サザンカ 国立歴史民俗博物館・くらしの植物苑	http://www.rekihaku.ac.jp/exhibitions/project/o131203.html
8日(日)	14:30-15:30	みんなくウィークエンド・サロンー 研究者と話そう 第323回「ポリビアのカカオ・フェスティバルから「世界」を見る」 国立民族学博物館	http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/salon/323
10日(火)	14:00-16:00	第273回日文研フォーラム「近代能楽史と植民地」 ハートピア京都3階大会議室	http://www.nichibun.ac.jp/ja/
14日(土)	13:00-15:00	歴博講演会第360回「採石の民俗誌」 国立歴史民俗博物館・歴博講堂	http://www.rekihaku.ac.jp/events/lecture/index.html
15日(日)	14:30-15:30	みんなくウィークエンド・サロンー 研究者と話そう 第324回「アラスカ先住民イヌピアットの捕鯨」 国立民族学博物館・セミナー室	http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/salon/324
12月17日(火)- 1月19日(日)		午年の馬 国立歴史民俗博物館	
21日(土)	13:30-15:30	第177回「サザンカの名前とその変遷」 国立歴史民俗博物館・くらしの植物苑	http://www.rekihaku.ac.jp/exhibitions/project/o131203.html
21日(土)	13:30-15:00	みんなくゼミナール第427回「カザフの死者儀礼ー日常から展望するイスラーム」 国立民族学博物館 講堂	http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/seminar/427
22日(日)	14:30-15:30	みんなくウィークエンド・サロンー 研究者と話そう 第325回「急増する生涯独身者、そこから読み解く韓国現代事情」 国立民族学博物館・セミナー室	http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/salon/325

1月

開催日	時間帯	イベント名称・開催場所	参考URL
5日(日)	14:30-15:30	みんなくウィークエンド・サロン—研究者と話そう 第326回 国立民族学博物館	
8日(水)– 9日(木)	10:00–	国際研究フォーラム「ロシアと中国の国境:諸民族 の混住する社会における『戦略的パートナーシッ プ』とは何か? 国立民族学博物館・第4セミナー室	http://www.minpaku.ac.jp/research/activity/news/rm/20140108-09
11日(土)– 13(月・祝)	10:00–	国際シンポジウム「北太平洋沿岸諸文化の比較研 究—先住権と海洋資源の利用を中心に」 国立民族学博物館・第4セミナー室	http://www.minpaku.ac.jp/research/activity/news/rm/20140111-13
11日(土)	13:00-15:00	第361回「怪談・妖怪コレクションから」 国立歴史民俗博物館・歴博講堂	
12日(日)	14:30-15:30	みんなくウィークエンド・サロン— 研究者と話そう 第327回 国立民族学博物館	
13日(月・祝)	11:00-11:20 14:30-14:50	年末年始展示イベント「うま」関連イベント ギャラ リートーク 国立民族学博物館・探究ひろば横休憩所	
13日(月・祝)、 19(日)	10:30-16:30	年末年始展示イベント「うま」関連イベント ワーク ショップ「大きな「うま」ジグソーパズルに挑戦！」 国立民族学博物館・エントランスホール	
13日(月・祝)	10:00– 10:45– 11:30– 13:00– 13:45– 14:30–	年末年始展示イベント「うま」関連イベント ワーク ショップ「おりがみで遊ぼう! —干支シリーズ 「午」」 国立民族学博物館・エントランスホール	
18日(土)	13:00-17:00	第93回「初春の馬」 国立歴史民俗博物館・ヤクルトホール	
18日(土)	13:30-15:00	みんなくゼミナール 第428回「熱狂エチオジャ ズ!!!」 国立民族学博物館・講堂	http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/seminar/428
19日(日)	14:30-15:30	みんなくウィークエンド・サロン— 研究者と話そう 第328回 国立民族学博物館	
25日(土)	13:30-16:00	みんなく映画会/みんなくワールドシネマ「ラビット・ ホール」 国立民族学博物館・講堂	http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/fs/movie_s1401
25日(土)	13:30-15:30	第178回「春を迎えるくらしの植物苑:新春の花々 と木々楽しむ」 国立歴史民俗博物館・くらしの植物苑	
26日(日)	14:30-15:30	みんなくウィークエンド・サロン— 研究者と話そう 第329回 国立民族学博物館	
26日(日)	10:30-16:30	年末年始展示イベント「うま」関連イベント「えとの 「午」で絵馬をつくろう」 国立民族学博物館・エントランスホール	

【教員の受賞情報等】

○複合科学研究科 情報学専攻 北本朝展 准教授ら
Geo アクティビティフェスタにおいて「Geo アクティビティフェスタ奨励賞」を受賞

○複合科学研究科 極域科学専攻 菅沼悠介 助教
「地球電磁気・地球惑星圏学会 大林奨励賞」を受賞

○複合科学研究科 情報学専攻 児玉和也 准教授ら
画像符号化シンポジウムにおいて「優秀論文賞」を受賞

○生命科学研究科 遺伝学専攻 細道一善 助教
日本人類遺伝学会 第58回大会にて「大会最優秀ポスター賞」を受賞

○文化科学研究科 国際日本研究専攻 Anton Luis Sevilla 学生
暁鳥敏賞において「佳作」を受賞

○文化科学研究科 国際日本研究専攻 長門洋平 修了生
人間文化研究奨励賞を受賞

○先導科学研究科 鈴木俊貴 研究員 (JSPS・SPD 特別研究員)
動物行動学会の学会賞を受賞

【編集後記】



総研大ニューズレター67号をお届けします。

総研大は創立25周年を迎え、11月25日~26日にかけて、記念式典とシンポジウムが開催されました。本学の今後に期待を抱かせるような講演が多数あり、非常に意義深いものであったと思います。

カレンダーもいよいよ師走となりました。年度末に向け追い込みと新年度の計画策定など、経営面や教育研究面において、そろそろと忙しくなってくる季節です。

寒さも日に日に増してきております。先日、総研大の葉山キャンパスでは、池の網張りを行いました。池の金魚や鯉を、渡り鳥から守るためです。白い息を吐きながら、夏よりもゆったり泳ぐ金魚や鯉を見て、本格的な冬はもう足下までできていると実感しました。

年末年始のお休みは、最長の9連休となりますので、多忙な年度末を迎えるにあたり、皆さま十分にリフレッシュしていただきたいと思います。

広報室 T.W

◎各専攻で教員や学生がメディアに出演が決まっている場合や、受賞や表彰等があった際にはご連絡ください。またメディア等に出演される場合は、可能な限り「総合研究大学院大学」と表記していただけますようご協力お願いします。

発行 2013年12月11日

編集



国立大学法人
総合研究大学院大学
THE GRADUATE UNIVERSITY FOR ADVANCED STUDIES

広報委員会

神奈川県三浦郡葉山町 (湘南国際村)

総務課 (担当)

TEL046-858-1500/FAX046-858-1542

©2013 SOKENDAI